

2026年9月1日
株式会社エフピコ

エフピコと中島水産が「エコストア協働宣言」 「エコ製品」の積極的使用で協働し CO2 排出量削減

～エコ製品の積極使用で、2027年3月期CO2排出削減量150tを目指す～

株式会社エフピコ（本社：東京都新宿区、代表取締役会長：佐藤 守正、以下「エフピコ」）と、中島水産株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：井上 恵介、以下「中島水産」）は、関東地区を中心に展開する63店舗および東南アジアを中心とした7か国に展開する91店舗において、エコ製品である「エコトレイ」および「エコAPET」の積極的使用で協働し、CO2排出量削減を推進するため、「エコストア協働宣言」を発表いたします。

両社は本宣言を通じて、地域の環境負荷低減ならびに地上資源の有効活用を推進し、持続可能な社会の構築に寄与してまいります。



■本取り組みの背景

エフピコは、「エフピコ方式のリサイクル」により、地上資源の循環およびCO2排出量の削減、環境負荷の低い容器の使用による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。使用済み食品トレイを新たな食品トレイに生まれ変わらせる「トレイtoトレイ」、および使用済みペットボトルを回収し新たな透明容器に生まれ変わらせる「ボトルto透明容器」を通じて、エコ製品「エコトレイ」「エコAPET」を製造しています。

■エコ製品の積極的使用とCO2排出量削減の実績と目標

中島水産は、エフピコのエコ製品を売り場で積極的に使用し、CO2排出量の削減に努めております。2026年3月期は、125tのCO2排出量を削減いたしました。今後、中島水産は提供する刺身や寿司などの商品において、従来の容器からエコ製品への切り替えをさらに推進し、2027年3月期は、150tのCO2排出量削減を目指してまいります。

■ポスター掲示等によるお客様への啓発活動

本取り組みを消費者の皆さまに広くお伝えするため、店舗においてCO2削減実績を記載した啓発ポスターの掲示などを行います。今後は店頭での情報発信を通じて、地域の皆さまと共に環境意識を育みながら、持続可能な循環型社会の実現に貢献してまいります。

『エフピコ方式の水平リサイクル』



中島水産
エコトレイを
使用しております。

CO₂ 削減効果
年間 約 **125t**
(2026年3月期実績)

トレイ供給元(エフピコ)の
リサイクル工場のご紹介
YouTubeはこちら

【ご参考】

＜株式会社エフピコ＞

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレイtoトレイ」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環およびCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地:〒163-6037 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー37階

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設 立:1962年7月

H P:<https://www.fpc.jp/>

【リサイクル特設ページ】 [エフピコ みんなでリサイクル](#)

＜中島水産株式会社＞

関東地区を中心に63店舗、東南アジアを中心とした7か国で91店舗を展開する鮮魚専門店です。

「私たちは「おいしいおさかな」を提供し続けることにより、「人々の健康」と「豊かな食文化」の実現に貢献してまいります。」という経営方針のもと、時代が求める健康的で新しい魚食の在り方を世界へ発信し、豊かで活気に満ちた魚食文化を未来へ紡ぎ続けます。

所在地:〒104-0045 東京都中央区築地6-19-20 ニチレイ東銀座ビル5階

代表者:代表取締役社長 井上 恵介

設 立:1951年10月

H P:<https://nakajimasuisan.co.jp/about/appeal/>

以 上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ リサイクル推進部 TEL:03-5325-7559 FAX:03-5325-7767